



東京南部生協解散にあたってのご挨拶

猛暑が続き例年になく厳しかった夏、また、コロナ禍の下での自粛など大変な状況の中での生活が続いていますが、組合員のみなさまにおかれましては元気にお過ごしのことと思います。引き続きみなさまにはさんぼんすぎの利用や組合員活動へのご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

6月17日に開催された総代会で東京南部生協の解散を決議いたしました。前身の目黒南部生協から東京南部生協に名称変更された1971年11月から50年を目前にして生協解散ということになってしまいました。半世紀にわたって組合員の協力を得ながら事業と運動を進めてこられたことに深く感謝しますと同時に、これからも組合員が連帯して平和とよりよいくらしを守る社会づくりにかかわっていただけるよう願っています。先行き不透明な時代といわれる中だからこそ、生協を通じて消費者主体の事業と運動を進めていくことが大切だと思います。

20年に及んだ私たちの生協再建の取り組みは、組合員の買支えによって無事に終わりを迎えようとしています。約7億円あった累積赤字は2.8億円まで減少させることが出来ました。2億円近い債務超過は解消し当初の目標を達成することが出来ました。そして、そのすべての苦しい場面には生協を愛する組合員の熱い思いと職員の頑張り、生産者や取引先のみなさまのご協力がありました。心より感謝申し上げます。また、日本生協連、東京都生協連、都内全ての生協の仲間のみなさま、同じ地域で活動する他団体のみなさまの多大なご支援をいただきました。改めてお礼申し上げます。

9月21日の事業譲渡により全ての事業は東都生協に引き継がれ、組合員のみなさまは東都生協の組合員としての新しい生協活動が始まります。これまで同様に創意工夫の組合員の力を存分に発揮していただき、これまで以上に活動の幅を広げてもらいたいと思います。苦しい時期をともに励まし合い、助け合ってきた職員もこれまでの経験を生かし新しい職場で活躍してくれることと信じています。

東京南部生協は解散しますが、今後も様々な活動の場でみなさまと再会できることを願って専務理事としてのご挨拶とさせていただきます。

いつまでもお元気で、お身体ご自愛ください。ありがとうございました。

2020年9月20日
専務理事 野畑 増広

